



「今日の一步が光を招く 確かな一步が未来に続く」

学校だより

令和3年6月3日
東京都立羽村特別支援学校
校長 田口 克己

「新しい日常」の継続と本校での対応

新型コロナウイルス感染症の流行の主体となっている変異株は、若年層にも感染のリスクが高く、重症化が懸念されていることを踏まえ、これまで以上の危機意識をもって感染症対策に取り組む必要があります。

本校の教育活動に関しましては、現在までの対応を継続することとしますが、児童・生徒の心身の健康維持等のため、新型コロナウイルス感染症の正しい理解とともに、児童・生徒一人一人に対して、感染症対策の一層の徹底に向けた指導を行う所存です。

★本校としての対応★

緊急事態宣言の延長・再延長に伴い、令和3年度年間指導計画の見直しや内容の検討を重ねてまいりました。

今回の「学校だより」を作成するにあたり、昨年度の6月・7月発行の「学年だより」を見ると、苦渋の決断が2年続いていることを実感します。児童・生徒及び保護者の皆様のご期待にそえず、心苦しさを感ぜずにはいられません。検討に検討を重ねた本校の対応をご報告いたします。

- ・水泳指導 → 6月から9月まで全て中止とします。
- ・授業参観期間 → 6/30水、7/1木、7/2金の3日間のいずれか1日(1時間参観)の希望制にて実施します。
- ・1学期校外学習 → 公共交通機関・スクールバスを利用しない範囲で、学習内容を検討して実施します。
- ・交流及び共同学習 → 交流校の実情に合わせた計画を立てます。動画での学校紹介やオンライン交流など、新たな方法を検討しています。
- ・学校公開 → 中止とします。→ 学校説明会として、学部別で日時・説明会場・人数・時間帯を工夫して実施します。
- ・作業販売 → 不特定の外来者を対象とした接客・販売は、当面の間は実施しません。
- ・職場見学 → 受け入れていただける企業・作業所等と十分に連携を図り「密」な状態を作らない配慮をします。
- ・現場実習 → 実習の時期(この時期でなければいけないのか、延期は可能か)、実習の期間、実習の内容(飛沫感染の可能性が高くないか)、職場の環境(執務室の密集や換気状況、不特定多数の出入りの有無、手指消毒やマスクの着用などの基本的な感染症対策の徹底状況)、通勤環境(交通機関の混雑状況等)などを総合的に判断し、夏季休業中も含めて実施を検討しています。
- ・部活動 → 緊急事態宣言中は実施しません。
解除後は、ガイドラインに基づき、生徒の安全を最優先に考え段階的に実施します。
日時・内容について、あらかじめ生徒・保護者にお知らせします。
体力や健康及び技能等の回復を図るための十分な期間を経た上で、対外試合・合同練習を実施する場合や大会参加をする場合は、必ず生徒・保護者から同意書をいただきます。

- ・2学期宿泊行事 → 【小学部】 5・6年移動教室を日帰りとします。
【中学部】 1・2年移動教室及び3年修学旅行を日帰りとします。
【高等部】 1年宿泊防災訓練は、日帰りとし防災体験・学習を行います。
2年移動教室及び3年修学旅行を日帰りとします。



今年度の宿泊行事の考え方

- ・宿泊を伴う行事は、感染リスクが高い活動(食事、入浴、同部屋での就寝)を含んでいます。
- ・流行の主体となっている変異株は、若年層にも感染のリスクが高く、重症化が懸念されています。
- ・現在の社会情勢(ワクチン接種率が低い)において、都教委が示す宿泊実施に関する方針をクリアすることが難しい状態です。
- ・都教委が推奨している宿泊防災訓練が、1学期のみならず2学期においても「泊を伴わない内容での実施」の通知を発出しています。
- ・Go to トラベルが再開しないと、他県への宿泊を予定している行事の現地踏査ができない現状です。
- ・宿泊を計画していた学年の保護者にご協力いただきました「参加意向調査」では、学年によってばらつきはあるものの、学校全体の傾向として、宿泊を希望するご家庭よりも、日帰りを希望するご家庭の方が多いという結果が出ました。



『安心・安全な環境で、笑顔をやささないために』

5/22小学部・5/29中学部の体育授業見学会において、無観客実施の判断もさることながら、今回の2学期宿泊行事を「日帰り行事」とする判断も苦しい決断です。

我が子の頑張る姿を見たい、成長を褒めたい、楽しい思い出をたくさん作って欲しいと思う保護者の気持ちと、頑張る教え子を保護者に見せたい、褒めてあげて欲しい、様々な体験を通して掛け替えのない思い出を作りたいと思う教職員の気持ちと、毎日頭の中をグルグルと渦巻き、情報収集と可能性や工夫について話し合いを重ねています。

原点は「安全・安心」な環境づくりと「何を体験し、学び、身に付けるか」です。形や方法は変わっても、児童・生徒が、帰宅後に笑顔で「今日の出来事」を保護者の皆様に伝えられるように、辛さをバネに努力してまいります。

校長室からの夕日